

# 生体分子・細胞との相互作用を制御する 革新的水圏機能材料の創製



長瀬 健一

慶應義塾大学・准教授

温度変化により水和・脱水和を起こす温度応答性高分子を修飾した材料は、界面の親水性・疎水性の変化により、タンパク質・細胞との相互作用を制御することができるため、分離材料としての検討が行われています。しかし現段階では、温度応答性高分子の分離材料としての十分な性能を引き出せていない可能性があります。そこで

本研究では、温度応答性高分子近傍の水分子挙動の詳細な解析を行います。これにより、さらなる機能性を有する温度応答性高分子界面の設計指針を構築することで、革新的な分離材料の創出を目指します。

